

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

12

2012 No.699

3 はじめの言葉

4 政治も企業経営もマーケティング力が不足

田原文夫

企業は利益を出すことを目指しているとは言え、日本企業を代表する経団連の会長が、国土よりも企業利益優先の演説を、領土問題で揉めている当事国でブチ上げて帰ってきたのには正直驚きである。まさに「儲け主義」の権化であることを、頼みもしないのに告白したようなものだ。改めて、どういうセンスの持ち主であるのかと思った。まずは、ひどくマーケティングセンスの乏しい人物だと鑑定しておこう。果たして、予想されてはいたものの、余りの突然の衆院解散で、慌ただしい師走となった。選挙もあることから、企業経営の場合だけでなく、政治活動をマーケティングの観点から見たらどう見えるか考えてみた。読者諸賢にも一考を促したい。隣国諸国との領土問題が表面化してきていることを反映し、選挙の前哨戦から、隣国を意識した強気の政策演説が目立つ。案の定といったところである。一方、情報システムの世界もマーケティング的に見ると、中央集権か、分権かが問われるシステム導入が繰り返されていることが分かる。見方を変えれば、景色も変わる。変わった景色が必要なのは、世界がどう見えるかが大問題になっているからである。どうも日本の見方を決める必要がありそうである。

10 情報社会を考える その 27

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

国を二分させるような議論には、事前に十分な関連情報の開示が前提となる。今の情報社会にあって TPP 交渉という国家の主権／存亡にかかわる問題がドサクサ紛れに進められたことは許されない。野田政権の情報隠蔽は、今度の選挙で厳しく糾弾されるべきだ。戦争が経済活動の一形態であるように、経済競争も戦争の一形態である。TPP 交渉の影に潜む真実、国家間交渉の実態を正しく認識すべきである。

13 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M 構築が必要か その 22

水田 浩

東北の復興費は 2011 年度の第 1～3 次補正予算と 2012 年度の復興特会予算案の合計で 18 兆円を超え、当初 5 年間で見込んだ 19 兆円に迫る。この復興費で行われる事業は、全自治体が 2000 年代に導入を決めた建設建設 CALS を、国交省の電子入札と電子納品のガ

イドラインで実施される。

19 連載 アーキテクチャ論 (20)

エンタープライズアーキテクチャ

プリンシプルのシステミグラム分析

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

今回は、本連載 18 回で紹介した Boardman によるシステミグラムを用いて TOGAF のエンタープライズアーキテクチャプリンシプル(Enterprise Architecture Principle : EAP)を分析してみよう。

エンタープライズアーキテクチャプリンシプルでは、エンタープライズアーキテクチャが満たすべき意図を定性的に記述する。エンタープライズアーキテクチャプリンシプルについては、本連載第 8 回で説明した。

以下では、まず、システミグラムとエンタープライズアーキテクチャプリンシプルを概説してから、TOGAF のビジネスアーキテクチャに対するアーキテクチャプリンシプルをシステミグラムで図式化する。

31 情報システム環境の変化に伴う

セキュリティリスクサーベイの実施 その2

aism

前号では、次々と新たな情報システム機器が登場するように、新規に情報を扱い、活用するユーザーが加わるなかで、新たなセキュリティ危機が次々と発生していることを指摘した。本号では、その一方で、システム化の経験豊富で、したがって、情報システム展開の現場に発生し得るセキュリティリスクにも精通している人材が急激に枯渇してきている状況に焦点を当てながら、セキュリティリスクサーベイの進め方、あり方を検証してみたい。

37 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

第 15 回 スキルズインベントリを基盤とする

人的資源管理 (HRM) システムの構築(1)

1970 年代のオイルショック後の 1980 年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズ No1=No1 としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991 年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニティ 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2012年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの(得)広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 監修とうまく付き合う16の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港手続の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム乗組の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍乗務所乗組と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港手続とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本乗組員日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 乗組員の一日、訓練、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 乗組員の二 安室乗組と北米センター乗組

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp